

2021年3月1日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 島 健治

インド国北東州道路網連結性改善事業（フェーズ6）
（協力準備調査（有償））
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2021年2月15日（月）14:00～17:35
- ・場所：オンライン会議（Teams）
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、奥村委員、島委員、原嶋委員
- ・議題：インド国北東州道路網連結性改善事業（フェーズ6）（協力準備調査（有償））に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) DFR 北東州道路連結性改善事業
 - 2) 【SC 時回答表】インド国北東州道路網連結性改善事業(フェーズ6)(協力準備調査(有償))SC案
 - 3) 助言対応表_インド北東州道路網連結性改善事業(フェーズ6)
 - 4) EIA 北東州道路連結性改善事業
 - 5) SIA&RAP 北東州道路連結性改善事業
 - 6) 回答表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

全体会合（第122回委員会）

- ・日時：2021年3月1日（月）14:01～17:06
- ・場所：オンライン会議（Teams）

上記の会合にて助言を確定した。

助言

環境配慮

1. CO₂ 排出量の予測について、「事業なし」と「事業あり」の場合の比較だけでなく、現状の排出量との比較を FR に記載すること。
2. 廃棄土が未活用地に捨てられるとしても、環境に悪影響を与えない形で処分されるよう実施機関に申し入れること。
3. 標識以外の動物の交通事故対策が取れないか検討し、FR に追加すること。
4. 生息種のリストに示された生物の道路沿いでの出現可能性について評価すると共に、必要に応じて緩和策を検討し、その結果について FR に記載すること。
5. 近隣州における植林の事例を参照しつつ、現地での代替植林の計画立案にあたり、樹木の伐採による土壌流出への影響、植樹を優先されるべき樹種、植樹を行う候補地、モニタリングなどについて FR に記載し、当該機関に提案すること。

社会配慮

6. 本事業では移転対象となる住民の過半数が指定部族に属する住民であることに鑑み、指定部族に属する住民への追加的な補償の内容を FR に記載すること。

以上